

# うちの学校紹介しまあ!

## その12 学習小学校



海や山などの豊かな自然の中で、地域の方々の温かいまなざしに見守られ、本校の児童は、毎日元気に学校生活を送っています。「命と人権を大切にし、自ら学び、たくましく生きる児童の育成」を学校教育目標とし、よく考える子、やさしい子、元気な子の育成を目指して取り組んでいます。

### 一、言語活動の充実

「主体的に言語活動に取り組み、共に学び高め合う授業の創造」をテーマに、児童に確かな言葉の力を育み、系統的なコミュニケーション力の育成をめざして取組を進めています。話し方や聞き方を児童自らが意識するための振り返り活動や、ペアやグループ

での学び合いを積極的に取り入れながら学習を進めています。また、児童朝会では、委員会や学年の発表、ポエムオリンピックなども行い、全校生の前で発表する機会を持っています。発表後の感想タイムは、相手の良さを見つけて異学年間で伝え合うよい機会となっています。

### 二、交流を通して

児童会活動では、毎月代表委員会を開催し、学級の意見を聞き合いながら、毎月目標を達成するために全校生で取り組むことを決めていきます。また、一年生から六年生までが十六班に分かれて、たてわり活動を行っています。遠足、秋のたてわり交流会、ウォークラリー等の行事や、昼休みのたてわり遊びは、楽しい活動の場となり、学年を



学習小ポエムオリンピック

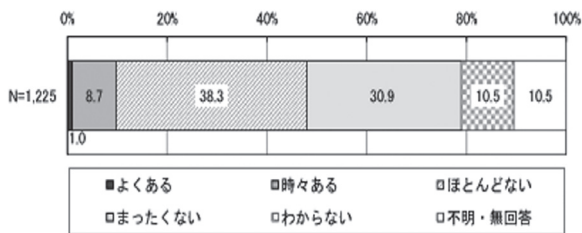
越えて望ましい人間関係が広がっています。高学年は、相手の立場に立つて行動することの意味を考え、リーダー性が身に付いてきました。低学年もみんなとなかよくし、協力しようとする姿が見られました。二月には、児童総会があり、一年間の活動を全校生で振り返ります。全学年の発表を聞く中で、それぞれの思いを受け止め、次年度での活動に生かしていきます。

児童は、地域の方々の協力を得て、漁業体験、生け花や茶道体験など、様々な体験活動も行っています。自然の良さを感じ、その恵みに感謝の気持ちを持ちたり、活動を通して友達の様々な思いを知ったりと、大変有意義な時間を過ごすことができます。



1・2年生による生け花

(図表1) 日常生活の中で、あなたはここ5年くらいの間に、人権を侵害されたことがありますか。



### 「本人通知制度」を知っていますか?

昨年12月7日、大分県佐伯市役所で、探偵業の男が委任状を偽造し住民票と戸籍を不正入手した疑いで逮捕されるという事件が起こりました。被害者が「本人通知制度」に

淡路市の「人権意識調査」からシリーズ⑧

テーマ 個人情報

本人通知制度について

登録し、身に覚えのない住民票などの取得の通知が市役所よりあったために発覚したのです。

淡路市人権意識調査では、図表1のように、人権を侵害されたことが、「よくある」と「時々ある」という回答を合わせると約1割になりました。そして、人権侵害を受けたときの対応をみると、「黙って我慢した」(51.3%)が最も多く、「市役所や警察、法務局・人権擁護委員に相談した」という回答は7.5%で、公的機関への相談が少ないという結果が出ています。

「本人通知制度」は、公的機関を通じて人権侵害から身を守るために大切なものです。この制度は、事前登録した人の住民票や戸籍謄本等を、本人等の代理人や第三者に交付した場合、交付した事実を登録者本人に通知する制度になっています。淡路市では、平成27(2015)年8月に導入されています。

登録の方法は簡単です。窓口は市民総務課ですが、岩屋・北淡・一宮・東浦事務所のみ民窓口でも登録できます。安全な地域を創りましょう。